

令和5年度 埼玉県推奨図書



高校生・青年向け

あなたの教室



レティシア・コロパニ
／著
齋藤可津子／訳
早川書房

心に傷を負ったフランス人の女性教師が、旅先のインドで生きるさまざまな女性たちとの出会いによって、インド社会における女性たちの厳しい生活に向き合い、自身の生きる意味を問い直す物語。必死に今を生きる彼女たち、困難な道の先に光はあるのか。

マイスマールランド



川和田恵真／著
講談社

一本の川も渡ることができない。難民申請が不認定となった者はそんな移動の自由すら奪われてしまう。突然やってきたその日から、クルド人のサーリヤの家族は働くことも、自由な行動も禁じられた。進学したい、友だちといたい、日本にいたい。そう思うことも禁じますか。

金環日蝕



阿部暁子／著
東京創元社

近所に住む老婦人へのひたつき現場に居合わせた大学生の春風と高校生の鎌。現場に残った落とし物を手掛かりに、二人は犯人捜しをはじめ。一方、貧困に苦しむ理緒はアルバイト先で出会った客にあることを依頼される。それは思いもよらぬ深い闇に繋がっていた。

ウェルカム・ホーム！



丸山正樹／著
幻冬舎

「とりあえず」の職場として選んだ特別養護老人ホーム「まほろば園」で働く康介。介護士の仕事の激務さに閉口するも、入居者のささやかな思いや望みに気づき、また同僚らから自分が必要とされていることに手応えを感じはじめる。七話連作短編集。

HAVE PRIDE

生きる！愛する！LGBTQ+の2300年の歴史！



ステラ・A・コールドウェル
／著
スー・サンダース
／アドバイザー
榊田理絵／訳
合同出版

LGBTQ+を抑圧する社会の歴史を知ることができる。歴史は決して明るくはないが、今を生きるLGBTQ+の若者から、前向きなメッセージがつけられる。「自分を理解して、どんな自分も受け止めて、愛してあげること。」今だからこそ読みたい一冊。

最近になってLGBTQ+という言葉を聞くようになりましたが、昔からいろんな考えの人がいて、彼らが迫害されてきた歴史を知り、この本を読むと、LGBTQ+について更に関心を持てるようになります。装丁はレインボーフラッグの配色で、楽しい気分で読めました。

埼玉県立越ヶ谷高等学校
1年生

